

## 学生支援環境及び学修環境を拡充・充実



北側外観(左から大学会館・OLIVE SQUARE・図書館)

### 基本情報

大学名：香川大学  
 建物名：図書館・OLIVE SQUARE・  
 大学会館  
 工期：平成25年8月～平成26年5月  
 構造・階数：RC 地上4階（図書館）  
 S 地上2階（OLIVE  
 SQUARE）  
 RC 地上2階（大学会館）  
 延床面積：7,302㎡（図書館）  
 754㎡（OLIVE SQUARE）  
 3,299㎡（大学会館）  
 事業費（設計費含む）：1,222,075千円

### 整備の方向性

#### ○人材育成等の支援施設整備

- ・教育研究及び利用者のニーズに対応するため、教育研究の中心となる図書館及び、学生生活の中心となる大学会館の改修工事を行った。
- ・自学自習や学生・教職員が学部枠を越え自然・自発的に交流できるスペース及び、一般市民を対象とした講演会スペース等の多様な機能を持ち合わせた、OLIVE SQUARE（公募により名称決定）を整備した。
- ・学修機能の強化、課題創出能力を持った人材の育成、グローバルな人材の育成、学際的な交流の促進及び地域社会への連携強化を目指した。

### 計画・設計上のポイント

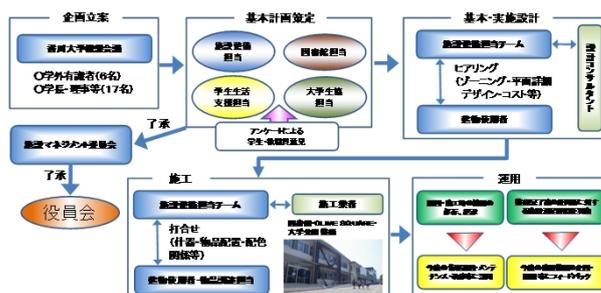
#### ○学生支援・教育環境充実のための整備

- ・基本計画は、図書館・学生生活支援・大学生協担当及び施設整備担当等の関係各部署が連携し、情報共有を図り策定した。また、学生・教職員向けに行ったアンケートの意見も踏まえた。

この基本計画はキャンパスマスタープランや法令上の制限との整合を図った上で、施設マネジメント委員会及び役員会の了承を得た。

#### ○補助金に加え自己財源等を投入

- ・本施設の整備に当たっては、施設整備費補助金に加え自己財源を投入して整備した。また、大学会館のベーカリーカフェ等については、大学生協で整備し、寄付を受けた。



## Before

### 図書館



## After



## 大学会館



OLIVE SQUARE



学習ラウンジ



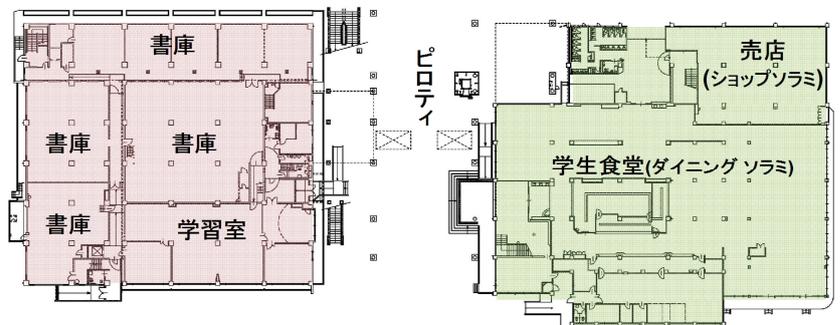
イングリッシュカフェ



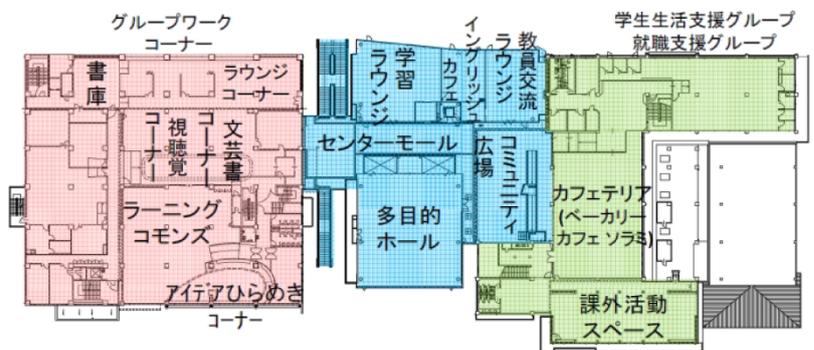
多目的ホール



教員交流ラウンジ



図書館・OLIVE SQUARE・大学会館 1階平面図



図書館・OLIVE SQUARE・大学会館 2階平面図

## 施設整備の効果

### ○多様な利用による交流の活性化

- ・ 図書館、大学会館改修により、利用者が増加したことで教育研究での利用や意見交流等を通じお互いを触発し合う空間として機能している。  
また、その中心にあるOLIVE SQUAREの利用も活発となり、学生の自学自習やサークル活動、留学生との交流、講演会、地域交流の場等として、多目的に利用されている。
- ・ 図書館の入館人数については、改修前の12万人（平成24年度（前期））から、改修後は16万人（平成27年度（前期））に増加した。
- ・ OLIVE SQUAREに整備した、英語のみで会話し留学生との交流の場である、イングリッシュカフェにおいては、平成26年5月の開館以来、約420人/月の学生等が利用している。  
また、多目的ホールにおいては、講演会やセミナー、地域交流等で10回/月程度のイベント等を開催しており、イベントがない期間は、学生のサークル活動等にほぼ毎日使用している。

### ○安全・安心な施設環境の整備

- ・ 耐震性能が低く危険性の高かった図書館及び大学会館の耐震補強整備を行うことにより、災害時における学生、教職員等への安全性が確保できた。

### ○環境配慮型設備の導入

- ・ 外部に面したガラスは日射熱等の対策として高断熱性・結露軽減に有効なLow-Eガラスを導入し温熱環境の確保と年間冷暖房負荷の低減を実現した。また、照明器具はLED及び昼光センサーを導入し、省エネ効果を図った。

### ○キャンパス全体の快適性・利便性の向上

- ・ 知的・活動的動線として、教育研究の中心である図書館と、学生生活の中心である大学会館の2階部分をOLIVE SQUAREのセンターモール（デッキ通路）で接続することにより、それぞれの活動を開放的空間で展開することを可能にした。  
また、キャンパスを南北に貫く動線を確保するためOLIVE SQUAREの1階部分をピロティとし、キャンパス全体の快適性・利便性の向上を図った。



OLIVE SQUARE (2階コミュニティ広場)



OLIVE SQUARE (2階センターモール)